

貸借対照表

2023年3月31日現在

旭化成ライフライン株式会社

第19期

単位:円

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	(831,866,030)
流動資産	2,264,847,557	流動負債	766,351,330
現金及び預金	0	工事未払金	481,460,309
完成工事未収入金	466,981,368	未成工事受入金	44,996,014
未成工事支出金	384,292,974	未払費用	113,930,354
貯蔵品	9,267,123	預り金	1,068,802
前払費用	77,526	未払金	15,692,951
未収入金	42,680	未払法人税等	8,469,100
立替金	1,018,890	未払消費税等	22,035,800
短期貸付金	1,393,954,790	賞与引当金	78,698,000
その他流動資産	9,212,206		
固定資産	120,949,706	固定負債	65,514,700
有形固定資産	23,239,959	退職給付引当金	65,514,700
建物附属設備	17,509,442		
機械装置	1,272,250		
車両運搬具	4		
器具及び備品	4,458,263		
無形固定資産	19,796,139	(純資産の部)	(1,553,931,233)
ソフトウェア	19,796,139	株主資本	1,553,931,233
投資その他の資産	77,913,608	資本金	100,000,000
長期前払費用	1,316,669	利益剰余金	1,453,931,233
出資金	115,000	繰越利益剰余金	1,453,931,233
差入保証金	20,058,015	(うち、当期純利益)	(138,888,484)
繰延税金資産	56,423,924		
資産合計	2,385,797,263	負債及び純資産合計	2,385,797,263

注 記 表

2023年3月31日 現在

第 19 期

旭化成ライフライン株式会社

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

未成工事支出金 …… 個別法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 …… 定額法
(リース資産を除く)

無形固定資産 …… 定額法
(リース資産を除く)

リース資産 …… 所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法
なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金 …… 賞与の支給に充てるため、当期に負担すべき支給見込額を計上しております。

退職給付引当金 …… 退職給付に備えるため、自己都合退職による期末要支給額の全額を計上しております。(小規模企業等における簡便法の適用)

4. 収益及び費用の計上基準

完成工事高 …… 工事完成基準

完成工事原価 …… 検収基準

5. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

(1) グループ通算制度の適用

グループ通算制度の適用を開始している。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(誤謬の訂正に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

1. 当該事業年度の末日における発行済株式数の総数

当事業年度の末日における発行株式の数は、2,000株であります。

- | | | |
|------------------------------|-------|-------|
| 2. 当該事業年度の末日における自己株式数の総数 | | 0 (株) |
| 3. 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項 | | 該当無 |
| 4. 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項 | | 該当無 |

(資産除去債務に関する注記)

該当事項はありません。

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りである。